



令和3年度の研究課題評価について

日本原子力研究開発機構
原子力科学研究部門
原子力基礎工学研究センター



令和3年度の研究課題評価について

令和3年度は、第3期中長期目標期間の最終年度となるため、第3期中長期目標期間に係る事後評価と第4期中長期目標期間における研究計画の事前評価を行う必要がある。

事前評価（1回目）：今回の委員会

- ・原子力機構全体の第4期中長期目標期間における研究開発の基本方針は、文部科学省の原子力研究開発・基盤・人材・作業部会や国立研究開発法人審議会JAEA部会等において審議されている。
- ・個別の研究開発課題の基本方針については、各研究評価委員会に対し、1回目の事前評価として審議を依頼することとした。
- ・1回目の事前評価の観点は、
 - ✓ 方向性・目的・目標等の妥当性
 - ✓ 研究開発課題の選定の妥当性とする。

事後評価・事前評価（2回目）：12月に開催予定

- ・事後評価：第3期中長期目標期間における成果についての評価を行う。
- ・事前評価（2回目）：基本方針をより具体化した計画について評価を行う。

中長期計画とは、主務省（文部科学省、経済産業省、原子力規制庁）が原子力機構に対して指示する

『国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が達成すべき業務運営に関する目標（中長期目標）』

を達成するために原子力機構が作成し、主務省の認可を受けた

『国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の中長期目標を達成するための計画（中長期計画）』

のことです。

次期中長期目標は、9月以降に国立研究開発法人審議会等で審議され、令和4年2月頃に指示される予定です。